

## 【航空レーザー測量等による二時期および三時期の標高値変化量抽出】

・静岡県熱海市伊豆山の土石流源頭部について、以下三時期データの標高値変化量を用いて、土石流源頭部における各種土量を推計しました。

### 三時期の標高

A: 2009年航空レーザー測量(計測日: 2009年6月27日) による標高

B: 2019年航空レーザー測量(計測日: 2019年12月11日) による標高

C: 2021年7月6日(発災後)に実施したUAVレーザー計測による標高



### 各種土量


①: Aに対するBの変化量:  $+56,000\text{m}^3$

②: Bに対するCの変化量:  $-58,000\text{m}^3$  (※植生等の影響を簡易的に取り除いて算出)


③: ①のうちBに対するCの変化がなかった部分及びAに対するCの変化がプラスの量:  $21,500\text{m}^3$

## 2009年、2019年に対する2021年（発災後）の標高変化量

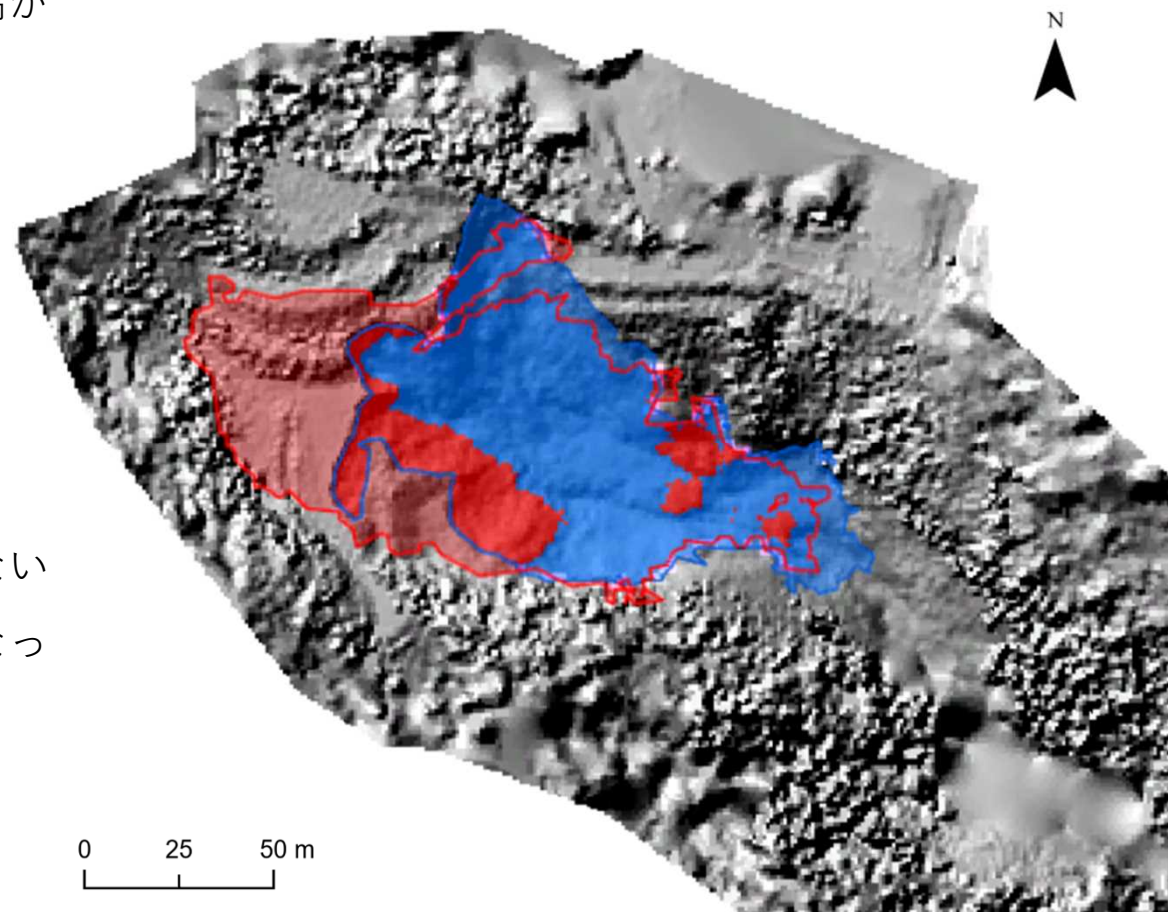
-  赤枠範囲：2009年から2019年に標高が高くなった範囲
-  青枠範囲：2019年から2021年（発災後）に標高が低くなった範囲

 赤塗り範囲：  
2019年に対する2021年（発災後）の標高が変わらない  
か2009年に対する2021年（発災後）の標高が高くなった部分

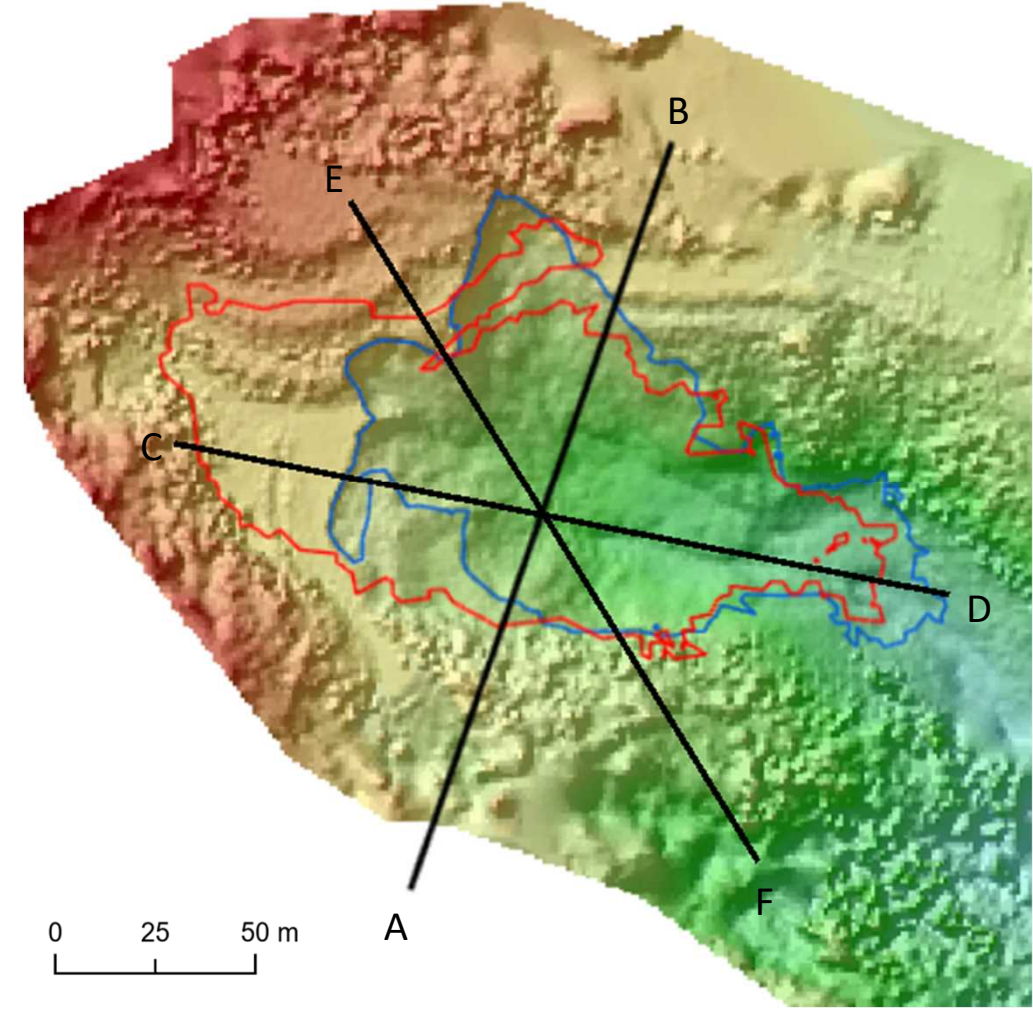
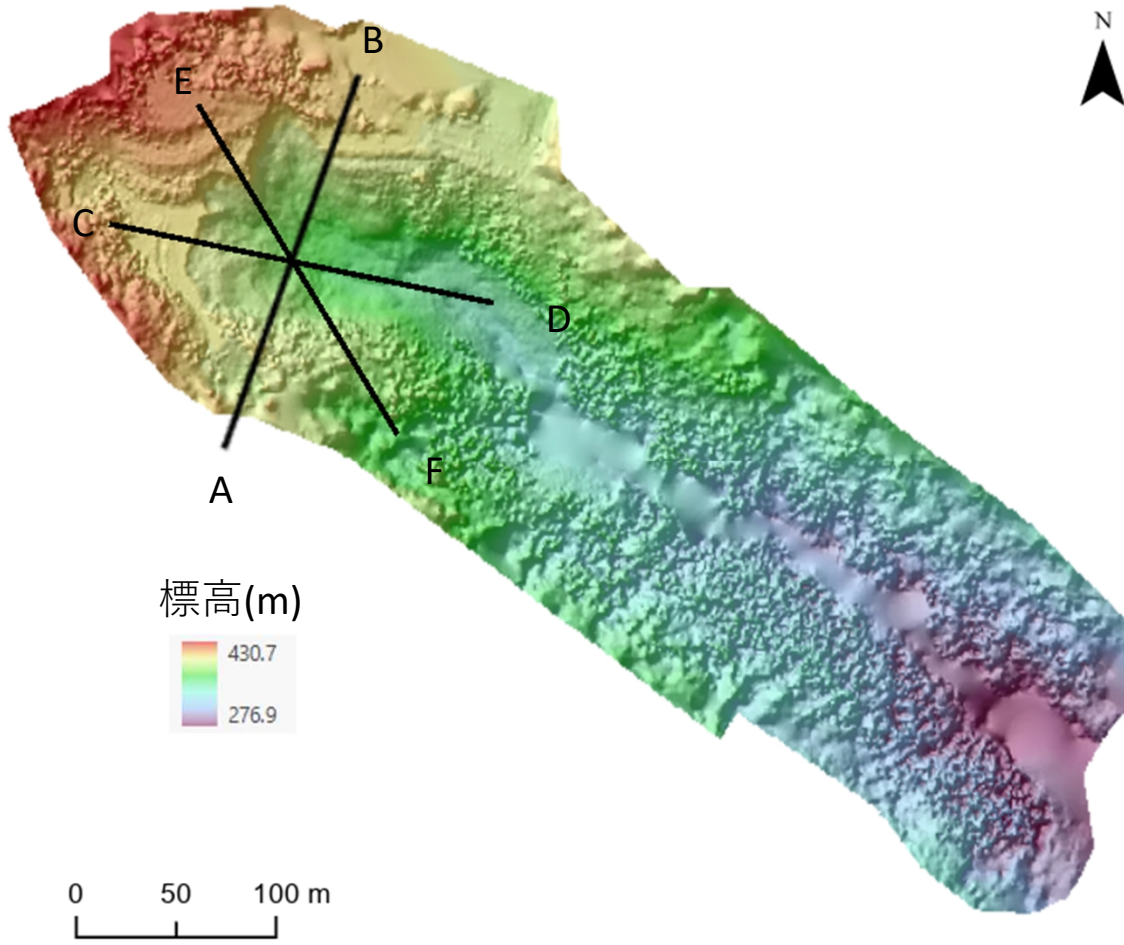
合計 約21,500m<sup>3</sup>

 青塗り範囲：  
2009年に対する2021年（発災後）の標高が低くなった部分

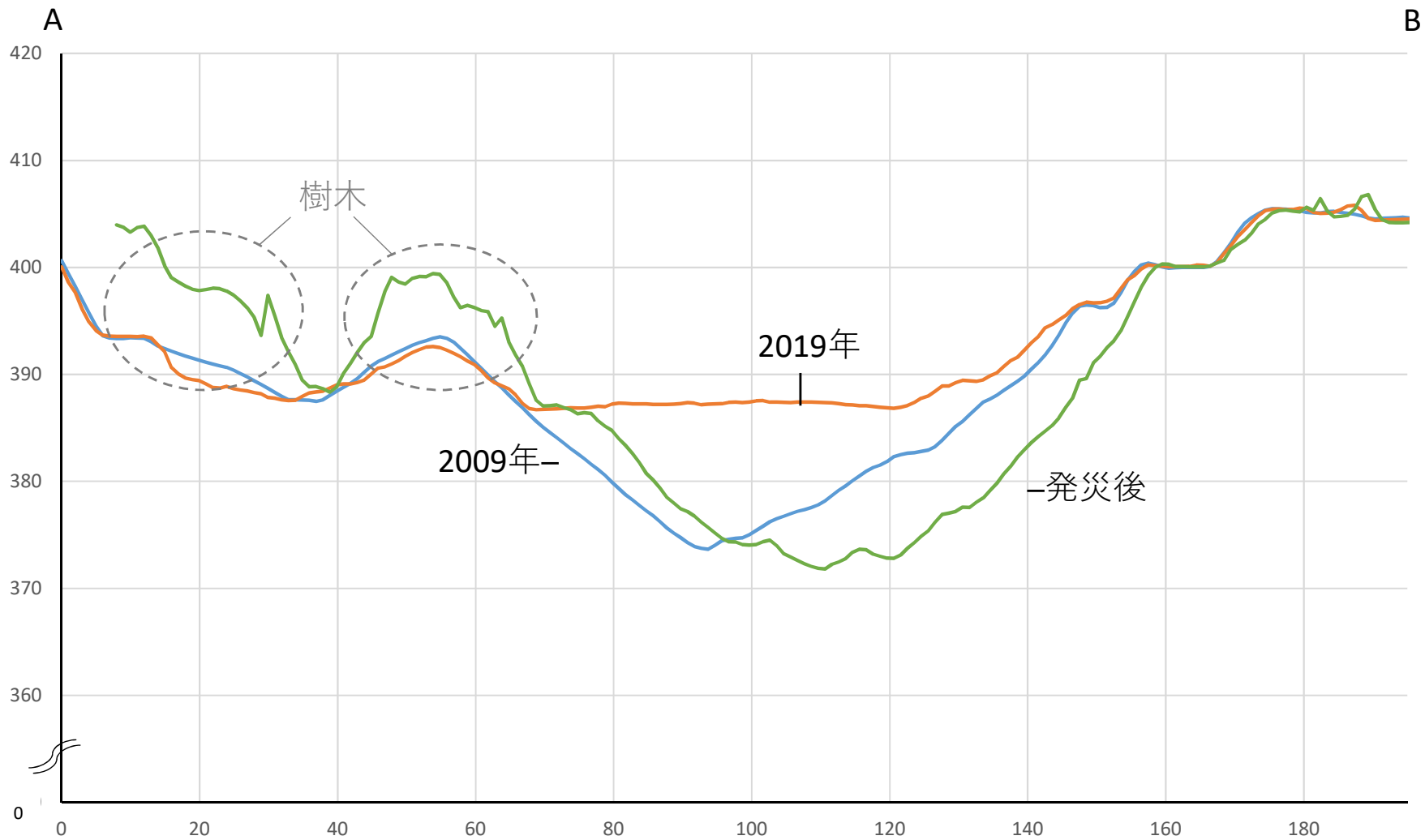
合計 約22,300m<sup>3</sup>



断面図の位置



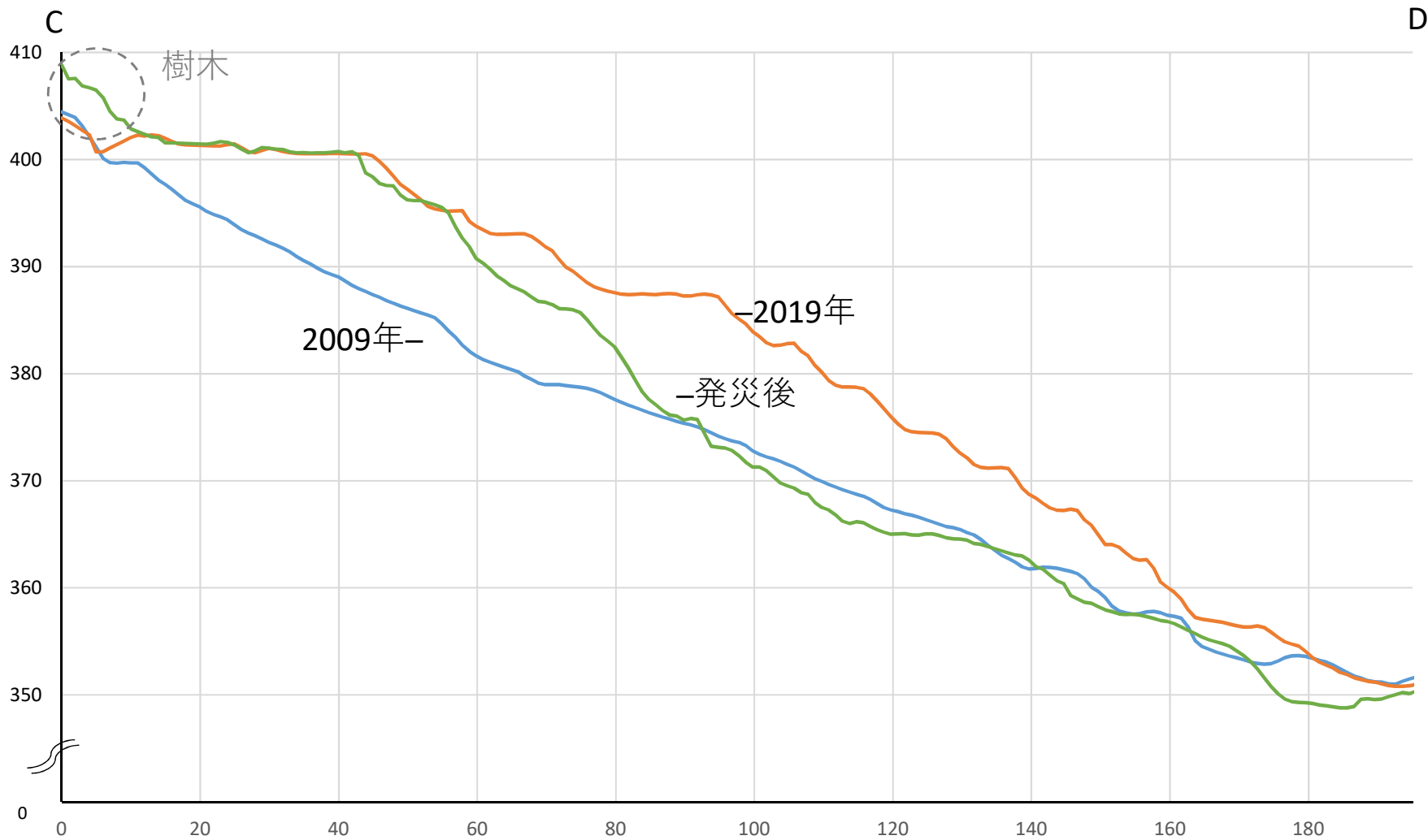
# 断面の比較



単位：m（メートル）

※高さ方向に強調しています

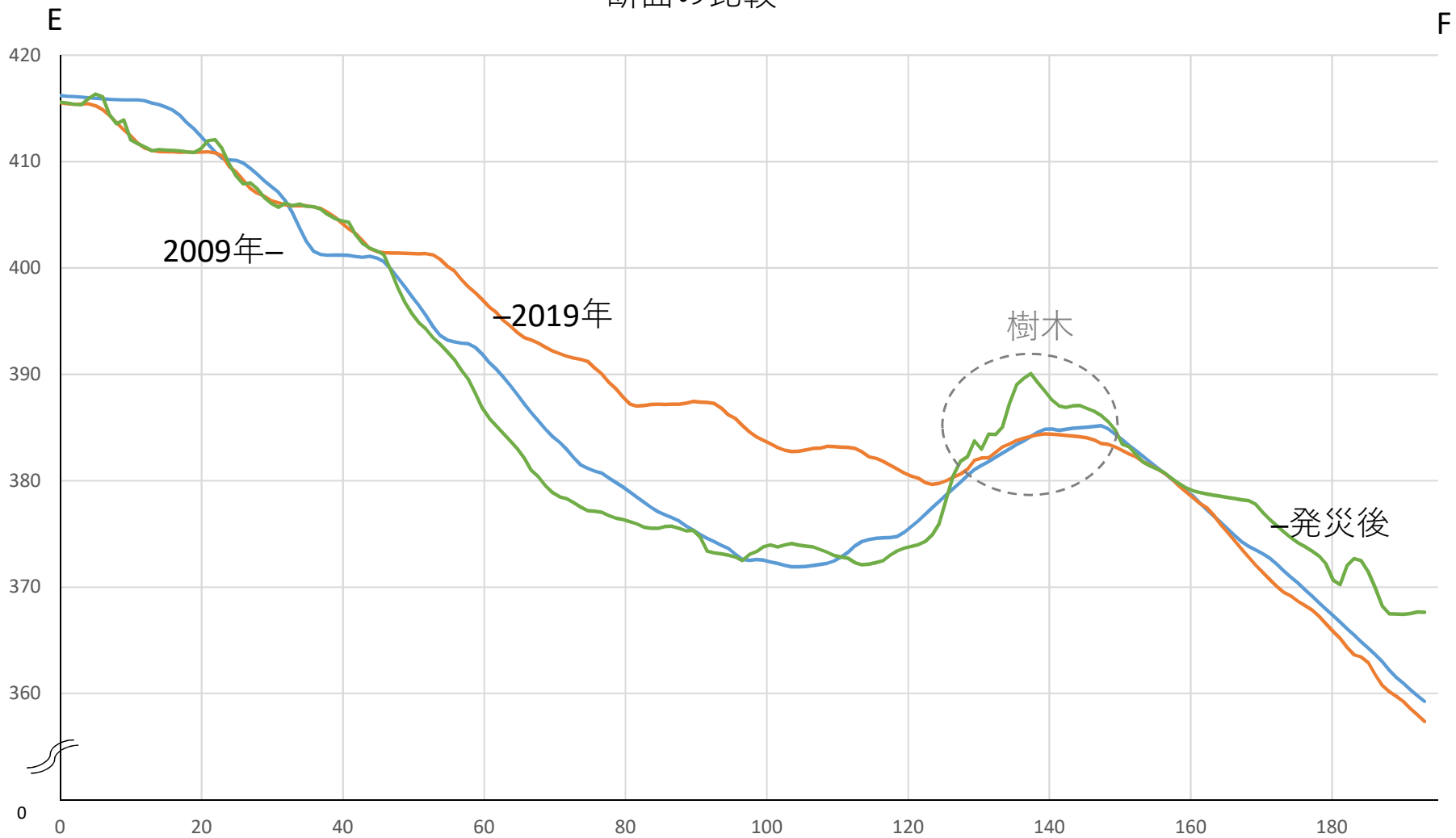
# 断面の比較



単位：m（メートル）

※高さ方向に強調しています

# 断面の比較



単位：m (メートル)

※高さ方向に強調しています